様式３　【物・文化財・風景など実態のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

№12

県 HP公開の可否（ 可 ・ 否 ）

区　分	1. 森づくり　2. 森の恵み　3. 森と技 4. 森と暮らし　5. 森の文化財　6. 森の風景	
分野（ふりがな）	（分野） 旧石器時代の石斧	（ふりがな） きゅうせっきじだいのせきふ
地域独特の呼び方	―	―
タイトル	旧石器時代の石斧	
伝承地域	―	
由来(年代)	今から25,000年前頃に礫を打ち欠いて作ったものである。この時期は、他の石器に比べてやや大型の石器の先端部を磨いて刃を付けた石斧が出現し普及した。	
内容	この時期に石斧が出現し普及したことから2, 500万年ほど前の温暖化の中で広がった森林を拓き、その資源を道具や簡単な建築材などとして利用していたことが推測される。 これらが発見された県内の主な遺跡としては、楢葉町大谷上ノ原遺跡や会津若松市笹山原NO8遺跡があげられる。	
大きさ・材質	（大きさ） ―	（材質） ―
見頃	―	
交通アクセス	JR新幹線：新白河駅から約4キロ、タクシー10分、バス15分　東北自動車道：白河インターチェンジ下車約20～30分	
文化財等の指定状況	―	
問い合せ先	福島県文化財センター白河館・まほろん（TEL：0248－21－0700）　楢葉町教育委員会（TEL：0240－25－5270）	

【フリーフォーマット】

キーワード
楢葉町大谷上ノ原遺跡の石器　　会津若松市笹山原№8遺跡の石器